

の三大運動

友愛



奉仕



幸田町老人クラブ連合会（幸老連）の代表と9月5日に座談会を開催しました。



市川会長

市川正会長の話
 会員は、健康・友愛・奉仕の三大目標を目指し、スポーツ、コーラスなどを楽しみ、奉仕に張り切っております。
 元気でさつそうと出掛けられるおじいさん、おばあさんを目指して、皆さんも是非ご加入ください。

座談会参加者（敬称略）
 会長 市川 正
 副会長 吉本 裕
 副会長 林 喜好
 会計 齋藤智計
 女性部長 赤松麗子

クラブの紹介
 老人クラブは、地域を基盤とする高齢者の自主組織。活動は、「生活を豊かにする楽しい活動」「地域を豊かにする社会活動」に大別され、支え合いといきがいつくりに取り組んでいる。地域づくりとして、神社の清掃や生活習慣病の勉強会、交通安全講座がある。幸老連の代表と座談会を開き会員の皆さんから、ご



広報委員との座談会

意見とアンケートをいただきました。

老人クラブ数と会員数	町内クラブ数	22
男性	824人	
女性	1079人	
計	1903人	

主な年間スポーツ行事
 ゲートボール大会
 グラウンドゴルフ大会
 スポーツ大会
 ペタンク大会など



ゲートボール大会

座談会

座談会では、老人クラブの活動の様子が題材となりました。
 主な項目は、次のとおりでした。
 ①生活習慣病などの勉強会
 ②交通安全の講座。（会員の事故がないこと）
 ③地区交流のゲートボール大会など。

女性部の活動
 コーラス、フォークダンス、銭太鼓の練習と発表会。ほかに陶芸教室、歌謡クラブなどがある。

幸老連

健康



元気に歌う

皆さんからのアンケート

○議会だよりを見ていますか。

- ・見ている 9人
- ・時々見る 2人
- ・見ていない 1人
- ・回答なし 2人

○どんな内容が知りたいですか？

- ・議員の活動状況
- ・一般質問とその後の追跡
- ・身近な議案は特集を
- ・住民の声を聞くコーナー

○リーダーとしての使命感は

- ・絆を深めお役に立ちたい
- ・無理なく楽しめること
- ・健康と生きがいを見つめること
- ・心のつながり

○良いところ

- ・人の輪が広くなった
- ・仲間が増えた
- ・心が晴れ、体も健康になった
- ・他地区の人達と会える
- ・世代間の交流がある

○困っていること

- ・老人という言葉に抵抗を感じる
- ・男性会員の入会が少ない
- 議会で話し合ってほしいこと
- ・生活しやすい幸田町に
- ・環境問題
- ・幸田町第6次総合計画の充実
- ・町全域均衡のとれた発展

○その他のご意見(抜粋)

- ・幸老連は、平成27年に創立50周年を迎えます。

新入会員の声

入会の切っ掛けは、市場老人クラブ(新寿会)の存在を知人から聞き、人生も意義に遇せたらと思いい入会しました。ゲートボール・グラウンドゴルフで良い汗を流しています。皆さんと和氣藹々(わきあたたか)に楽しい思い出を、心に残しています。(中略)

まだ、未加入の皆様も是非、加入されて一緒に楽しみませんか。

金原唯男(市場区)

大阪から息子の家に近い横落に越してきた。寿会に入会して仲間ができた。行事には欠かさず参加する。話をするのが楽しく、行事のある日には欠かさず出かける。これが私の長生きの秘訣。話すと世界が明るい。

船本清子(横落区)

仲間づくりと健康、友愛奉仕を柱として実践。これからも組織の充実、活発な活動を推進したい。元気な高齢者を支援していただく「総合福祉会館(仮称)」の新設を期待しております。

- ・高齢者ふれあいプラザの北部版を設置してください。
- ・その他防災、減災対策など、多数のご意見がありました。

会員募集中

申込みは 地区役員まで

本稿の編集にご協力いただきお礼申し上げます。貴重なご意見を、今後の広報づくりに生かしてまいります。「幸老連」の皆さまの益々のご活躍をお祈り申し上げます。